

コーセー 2018 年度 入社式を開催

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)は、4月2日に本社にて「2018年度 入社式」を行いました。式典には今年度の総合職採用73名(男性28名、女性45名)が出席し、代表取締役社長 小林一俊より下記の内容の訓示を行いました。

化粧品は日本を代表する産業へ

このたび、皆さんが社会に出るにあたり選択された化粧品という産業は、どんなに世の中が変化しようとも、生活に彩りや潤いを与え、人々の心に満足を提供し、世の中を明るくするという意味では、この産業の担う役割は今後もますます大きくなる。特に化粧品産業は2016年に初めて輸出が輸入を上回り、今後日本の競争力の一翼を担う産業になるであろうと言われている。日本の化粧品は、ここ数年世界からの評価が高まり、特に高付加価値商材を強みとする当社においては、仕事の責任もやりがいも一層高まり、皆さんにとって申し分のない活躍の場が待っている。



当社が目指すべきこと

競争の舞台が「世界」に移りつつあることも踏まえると、これまで以上に、「グローバル」視点を拡大する必要がある。もはや市場を国内と海外に区別せず、「ボーダーレス」に市場全体として捉えるべきである。そして消費・購買行動、コミュニケーションの変化、たとえば「デジタル化」や「ネット社会」への対応、流通チャネルの垣根が取り払われつつある状況への対応なども含め、これまでの枠組みを超えた発想による、これまでの延長線上に無い新しい取り組みにも、積極的にチャレンジしていく必要がある。

“デジタルネイティブ”世代の新入社員の皆さんへ期待すること

「デジタル化」や「ネット社会」への対応を期待する。これができるかどうかで企業の運命が変わる。デジタルの技術をどう活用し、お客さまに提供する付加価値をどう高めて、新たなサービスを創造するかがキーポイントになる。これまでの常識に囚われない「斬新な発想」、「チャレンジ精神」とともに今後はますます「スピード」を期待したい。情報は一瞬で拡散し、一瞬で勝敗が決するため、変化に先んじて手を打てば、大きな成長を遂げる可能性がある。是非、IT やネットに慣れ親しんできている“デジタルネイティブ”世代の皆さんには、先輩社員を刺激するくらいの存在になって欲しい。そして、自分自身を磨くことを通じて、新たなコーセー像を自分が創っていくという気概を持ち、業務に取り組んで欲しい。

※今年度の美容スタッフ職採用は221名。入社式は、3月23日と3月30日に、コーセー王子研修センター(東京・北区王子)にて行いました。

このニュースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社コーセー 広報室 TEL 03-3273-1514(直通)